

潮 か ぜ

まちづくりニュース 第 40 号

平成26年 9月

発行：浜町・芦崎・新川西地区住環境整備協議会

会長：村山 泰夫

編集：大分市都市計画部まちなみ整備課

097-536-0160

097-537-5637

大分市からのお知らせ！今年度の住環境整備に関わる主な取り組みのご紹介！

○道路、公園(🌳)、辻広場(🌀)の整備

防災道路は、路線C（一部）及び路線G-2の整備を予定しています。

都市計画道路（東西間）は、下水道等関連工事の進捗状況をふまえ工事範囲を決定します。

公園の整備については、引き続き、用地買収交渉等を進めてまいります。

辻広場の整備については、昨年度の協議結果をもとに、整備計画等を検討していきます。

○地区全体の整備内容の見直し

平成17年度より行ってきた当地区の住環境整備事業は今年で10年目となります。

これまでに地元の皆様方とは、意見交換を重ねながら防災道路の整備など地区内の住環境の改善に取り組んできましたが、皆様方の道路整備等に対する意向や社会情勢の変化などから当初計画から変更が生じてきています。

このことから、今年度は、今後行う道路等の整備内容の見直しを行っており、地区住民の皆様を対象とした説明会を予定しています。詳細は別途ご案内いたします。

【写真①】 都市計画道路



【写真②】 路線K-2



【写真③】 路線I



①整備方針を検討する路線

路線F

沿道住民の方と引き続き整備に向けた協議を進めてまいります。

②建物補償調査・用地買収を行う予定の路線

都市計画道路（東西間の一部）

路線B、C（一部）、H、I（一部）、J（一部）

K-2（一部）、K-3、N-1（一部）

建物の補償費等を算定するための調査及び用地買収に関して地権者の方と協議を行います。なお、買収等終了している用地も一部あります。

③今年度道路工事を行う路線

都市計画道路（東西間の一部）

路線C（一部）、G-2

道路工事へのご協力をお願いいたします。

④道路工事が完了した路線

都市計画道路（南北間）

路線A、D、E-1、E-2、G-1、I（一部）、J（一部）

K-2（一部）、N-1（一部）、N-2

事業へのご理解とご協力
今後もよろしく
お願いします！



※図中の矢印（➡）は写真の撮影方向です。

道路整備は基本的に①から④の順番で行います

協議会顧問の方からのご挨拶！ ～事業着手から10年、節目の年に際して～

思いやり・優しさのある街 安全・快適な住環境を目指して！

大分駅付近連続立体交差事業や駅南土地地区画整理事業、庄の原・佐野線（都市計画道路）をはじめとする大分駅周辺総合整備事業、さらに平成27年度春開業に向けて、新大分駅ビルや県立美術館の建設が進み、高崎山自然動物公園、うみたまご、日本風景街道の田ノ浦海岸、港湾空間を形成する「みなとオアシスかんたん港園」に見られるウォーターフロント開発等は、大分市の中心市街地に近く、唯一の海辺の玄関口として、魅力ある都市の形成にもつながっているとと言えます。

周辺地域の環境が大きく変貌していく中、これらを結ぶベルト地帯が出来つつありますが、昭和通り交差点のバリアフリー化をはじめとする街路整備が進められており、浜町・芦崎・新川西地区では住宅市街地総合整備事業による都市計画道路並びに防災道路の整備が進められ、事業の進捗により着々とその姿を現してきています。

本地区は、中心市街地まで約1kmと立地条件に恵まれています。昭和40年代以降、人口の減少と高齢化、老朽木造住宅、道路の未整備等による居住環境の悪化や防災機能の低下が懸念されていました。

このことから、快適で安心して暮らせるまちづくりを目指し、コミュニティの維持向上と居住環境の改善を図ることを目的として、都市計画道路や防災道路を中心に、公園、集会所、防災設備等の公共施設の整備や老朽住宅の建替え等を行うこととしました。

この事業は、平成17年度から開始され、終了予定年度は平成32年度となっており、国庫支出金、地方債、一般財源により賄われて、平成25年度までの執行済み額は約40億円、平成26年度当初予算額は約5億円となっています。

執行するにあたっては、浜町・芦崎・新川西地区住環境整備協議会の皆様、大分市まちなみ整備課、民間の都市計画コンサルタント（株）地域計画連合）が主体的にその運営に携わり、事業を進める上での問題点や課題、年間スケジュールについて、地権者や地域住民と協議し、協力して取り組まれています。

私も、開催される説明会、協議会に極力参加し、まちづくりニュース「潮かぜ」も毎回拝読させて頂いていますが、関係者の大変なご苦労もあるのではないかと思います。しばしば本地区を自転車で回遊させて頂きますが、日々その景色が変貌していく様が、現在の風景と過去の様相が一致しない場面もあり、事業の進捗状況を見守りながら楽しみにしている一人です。

住みよいまちづくりに地域が連携してそれぞれの課題に一体となって取り組まれることの大切さや今日までこの事業に携わってこられた多くの先人達のご苦労とご尽力に感慨深いものがあります。

私は、今後も、地域の方と行政とのパイプ役として防災機能をはじめ、思いやりと優しさのある地域コミュニティの実現と快適・安全な住環境の整備に向けて、協議会の皆様、まちなみ整備課の方々、（株）地域計画連合の皆様と共に、協力・連携して取り組んでまいり所存ですので宜しくお願いします。



協議会顧問
河内 正直

浜町・芦崎・新川西地区住環境整備協議会発足10年にあたり

早いもので発足10年を迎えました。
地域では、まだまだ開発途上ではありますが、自転車がやっと通れるぐらいの通路の時代から考えますと、本当に街がきれいに整備されつつある事に、日々喜びを感じます。

これは、市、地域住民が一体となって努力してきた結果につきると思います。
私が生まれ育ってきた芦崎地区も着々と道路が整備されています。幼少の頃、よく火災が発生し、狭い道ばかりでなかなか消火活動ができずに大変だった光景が、今だに脳裏に焼き付いています。

この地区の開発については、50年くらい前から青写真が描かれていたと、聞いていました。

私が議員になってやっと前に進みだし、現在、道半ばではありますが目に見えて変わっていく地域を見るたびにうれしく思います。

できることであれば、あと10年、いや5年早く計画が進んでいれば父母に住みよい芦崎を見せることができたと残念でなりません。

この住環境整備事業は、多くの人の理解なくしては達成できないものであります。残念ながら、生まれ育ったこの街から離れなくてはならなくなった方もいらっしゃると思います。

そういった方々の理解と協力のもとに、一日も早く全ての整備が終わることを願っております。



協議会顧問
工藤 哲弘

協議会は大分市と地域の皆さんとのパイプ役として頑張っています！

住環境整備協議会の年間活動方針！

①整備内容の再整理

今年度は、現況調査結果やこれまでの事業の進捗状況等をふまえ、大分市と協働で事業の完了（平成32年度予定）に向けた整備内容の再整理を行います。

②まちづくりニュース「潮かぜ」の検討

大分市と協議しながら、まちづくりの情報を整理し、まちづくりニュース「潮かぜ」の紙面構成を検討します。



地域の皆さんに大分市との協議事項を発信していきます！

協議会と大分市の意見交換会の様子